

DXアンテナ  
**空きビット利用IPDC**  
～TSB企業展でナローキャスト放送～

DXアンテナ(株)(兵庫県神戸市、米山實社長)は、テレビ信州(TSB)が善光寺の御開帳に合わせて開催した企業展にて「ナローキャスト放送」をトライアルサービスとして実施した。

ナローキャスト放送とは、地上デジタル放送波を利用して特定の地域や場所にIPデータを発信し、デジタルTVサイネージにその情報を映し出すものだ。放送方式は、地デジ12セグメントの内、空きビットを利用して、独自のIPデータを放送する方式を取っている。なお、受信には専用

受信機(STB)が必要になる。今回のトライア

ルサービスは、TSBが長野市役所と善光寺の御開帳に合わせて開催する企業展に向け、展示会場および長野市役所第一庁舎において、サービスを実施しており、会場では信州ハムの自社PR情報、長野市役所第一庁舎では長野市の観光情報を地上デジタル放送波で送出したもので、最先端のIPDC(IP Data Cast)技術を見ることができた。



信州ハムPR情報(静止画11枚)を表示